

投稿・執筆規定

1. 原稿募集について

本誌の発行趣旨は、効率の良いゴルフスイングならびにゴルフに関する理学療法研究の促進を図り、その知識・技術の発展に寄与することを目的とします。この趣旨に沿った論文を投稿してください。原稿の種類は、原著論文、症例報告、その他を掲載するものとします。

2. 応募資格について

執筆における筆頭者は、ヨーロッパゴルフフィジオセラピー&ゴルフメディカルセラピー協会 (EAGPT) 会員に限ります。また、EAGPT 日本支部 (GPTJapan) 役員の決定により、会員外の執筆者に投稿を依頼することもあります。

3. 原稿の種類について

原稿の種類は、特集、原著論文、短報、症例報告、総説、その他とします。また、原稿の内容は他誌に未掲載（掲載予定を含む）のものとします。但し、過去に発表したものであっても、さらに内容を追加し、より深められた内容であれば、この限りではありません。

4. 原稿の分量および形式について

原稿は和文とし、A4 版ワープロ用紙 (40 字×40 行) に横書き、15 枚以内の分量とします。原稿形式は、別に定めます。原稿には、表題 (必要に応じて副題)、著者名 (和、ローマ字)、職種 (PT, MD など)、施設名、施設住所 (郵便番号を含む)、キーワード (3 語)、要約 (400 字程度) を必ず記載してください。

5. 原稿の内容、配列について

原稿の内容は、原則的に表紙 (上記内容を含む)、はじめに、対象ならびに方法、結果、考察、文献という内容、配列に準じてください。なお、総説、その他については、この限りではありません。

原稿に用いる文章は、楷書、口語体、現代仮名使いとし、数字は算用数字、単位は国際単位系 (SI 単位) としてください (例: 長さ m, 質量 kg, 時間 s, 温度°C, 周波数 Hz)。

年号は西暦を使用し、外国語 (地名, 人名, その他) は、原則として原語もしくはカタカナ (最初は原綴りを併記すること) を使用してください。また、略語は本文の最初に出てくるところで、カッコ内にフルスペルで記載してください。

引用文献は、本文末尾に一括して引用順に記載してください。また、本文中の引用箇所右肩に ○○1), ○○1)3), ○○1-3) のように肩番号を付してください。なお雑誌名の省略は、和文の場合は「日本医学雑誌略名表」に、欧文は「Index Medicus」に原則として従ってください。さらに引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合には最初の 2 名を書き、他もしくは et al. と略してください。文献の記載方法は、雑誌の場合、著者名: 表題. 雑誌名 巻(号), 初項- 終項, 発行年次. とし、単行本の場合、著者名: 表題. 書名 (編者氏名), 発行社名, 発行地, 発行年次, 項. とします。

雑誌例 1) 小室 透, 間瀬教史・他: 片麻痺の運動時皮膚温変化. 理学療法学 18(1): 5-11, 1991.

2) Hulme JB, Bach BW, et al : Communication between physicians and physical therapists. Phys Ther 68(1) : 26-31, 1988.

単行本例 1) 千野直一：臨床筋電図・電気診断学入門. 医学書院, 東京, 1977, pp102-104.

2) Vojta V : 乳児の脳性運動障害 原著第4版. 富 雅男, 深瀬 宏 (訳), 医歯薬出版, 東京, 1987, pp182-187.

6. 図・表について

原則として、すべての図表にはタイトルをつけ、必要に応じて説明をつけてください。

7. 原稿提出について

投稿に際しては、原稿（表紙、本文、図表、写真など）1部を送付してください。また、タイトルには必ず「論文タイトル」を記入してください。

8. 採択について

原稿の採否については、GPTJapan 役員ならびに学術局の査読委員にて決定する。査読の結果、編集方法に従って原稿の一部変更をお願いすることもあります。

9. 利益相反の可能性がある場合には、本文中の該当箇所に記載することとします。

10. 研究は、原則として所属機関等の倫理審査委員会の承認を得て行い、その旨を記載することとする。

11. その他

本誌に掲載された論文の著作権は、GPTJapan に属することとします。

著者校正は、原則として1回とします。校正は赤ペンでお願いします。記載後原稿は、原則として返却しません。記載料は無料です。ご不明な点は、事務局までお問い合わせください。